

保育部会職員研修(救命講習) 報告書

浜田市保育連盟会長 煙艸 のぞみ			保育部会長 松浦 清美（やさかこども園） 研修委員長 渡邊 さやか（三隅保育所）		
開催 日時	① 令和7年6月18日 ② 令和7年6月20日	開催場所	浜田市総合福祉 センター 会議室	記 録 者	おぐに保育園 森本 理香
	13：30～16：30				
出 席 者	① うみかぜ、岡見、やさか、ちどり第2，みのり、聖バルナバ、浜田ひかり、つくし、三隅、美川、おぐに ② れんげ、今福、三隅、美川、あおい、ちどり、三保、みのり第2、くもぎ、浜田ひかり			欠 席 者	なし
◎普通救命講習Ⅲ 講師 浜田市消防本部 救命講習担当職員2名 乳児…生後1ヶ月未満 小児…生後1歳から思春期以前（15歳程度） ○心肺蘇生法 ・人形2体（乳児、小児）を使用しながら救急車が到着するまでの行動、心肺蘇生法（胸骨圧迫、AEDの使い方）を繰り返し行う。 ○気道異物除去法 ・背部叩打法、胸部突き上げ法についても人形を使い行う。 ○止血法、子どもの急病について ・直接圧迫止血法、けいれん、吐く、頭を強く打つ、やけど、誤って飲み込んだ場合の対処法について学ぶ。 ＜参加者の感想＞ ・久しぶりにうけた講習だったが忘れていたことも多く、定期的に受けることが大切だと思った。 ・人形、AEDを使って実際に体験できて良かった。 ・日々、命と向き合っているということを再認識できた。 ・保育の現場で起こり得る事例もあり、改めて学ぶことができた。 ・心肺蘇生法、AEDの使い方だけではなく窒息、止血法、緊急性のあるケガや事故などいろいろなケースでの対応法を学ぶことができて良かった。園で情報共有していきたい。 ・園での子どもたちのケガの対応についても正しい知識を知って対応していかなければならないと改めて感じた。対応も大切にしながら安全な環境づくり、事故防止について見直していこうと思った。 ・丁寧でわかりやすい講習だった。その場面にであった時、1歩を踏み出す勇気が出せるよう日頃から見返していきたい。					

【参加者からの質問】

・ A E Dを使用する際に衣服を脱がせるタイミングについて聞きたい。乳児も1歳までだと発達の月例差もあり、どうやって脱がせるのか(絶え間なく心肺蘇生も行いながら)。やはり複数の人が必要ということなのか？

【救命講習担当者からの回答】

・ 衣服を脱がせるのは、A E Dのパッドを貼るタイミングで。乳児を横に向かせながら背中に貼る(心肺蘇生を続けながら素早く)。倒れているのを見つけてすぐに脱がせるならそれが一番早いかも。1人では難しいので、色々な人に手伝ってもらおう。最低でも2人。できるだけ人を集める。



※この報告書全文は連盟 HP 会員向けページに掲載します。又、下欄は活動報告ページに掲載します。